

ドキュメンタリー映画「犬と猫と人間と」上映会を行いました

動物愛護関係者から「茨城県内でも是非上映して欲しい!」との声上がり、趣旨に賛同していただいた(社)茨城県獣医師会、牛久市、土浦市、つくば市及び茨城県動物愛護推進員の協力のもと、9月11日(土)茨城県立図書館視聴覚ホール(以下、水戸会場)、10月9日(土)牛久市中央生涯学習センター(以下、牛久会場)にて午後2時より上映会を開催しました。



水戸会場の様子

両日とも多くの方にご来場いただき、水戸会場では111名、牛久会場では211名 計322名が映画を鑑賞しました。来場者の皆様には、今後の事業の参考とするため、アンケートにご協力いただきましたが、「動物愛護にいろいろ問題があることがよくわかった。」「動物を安易に飼ってはいけないことを再認識した。」等、改めて動物愛護について考える内容の感想が多く寄せられました。

会場のエントランスでは、来場者の皆様の動物愛護に対する関心を深めていただくよう、水戸会場では、水戸電子専門学校が制作した動物愛護啓発ポスターを、牛久会場では、動物愛護推進員が作成した茨城県の動物愛護の現状に関する啓発パネルを展示しました。こちらについても、来場者の皆様に熱心にご覧いただきました。また、映画に出演されていた小西修夫妻の猫の保護活動を支援すべく、動物愛護推進員による多摩川河川敷で暮らす猫たちの写真ハガキ販売も行われ、無事完売することができました。

こうした県民の皆さんの動物愛護に対する温かい気持ちが広がっていくよう今後も様々な取り組みを働きかけてまいります。



牛久会場の様子